

新しい年が巡ってきました。**2024年(令和6年)のスタート**です。

鎌倉時代末期に書かれた吉田兼好の徒然草では、元日の様子を次のように書いています。

「徒然草」19段より

かくて明けゆく空のけしき、昨日に変わたりとは見えねど、ひきかへめずらしき心地ぞする。

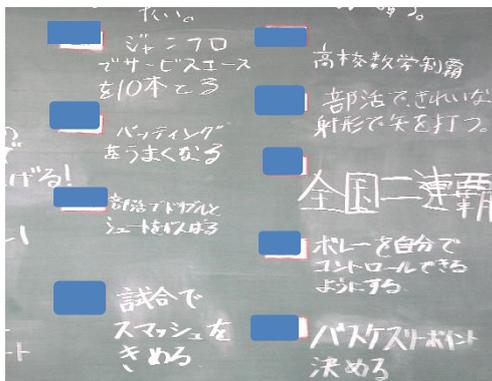
<現代語訳>

こうして夜が明けゆく元旦の空の景色は、昨日に対して変わらないのに、何か特別に新しくなった気がする。

きっと東中生も**特別な気持ちで新年を迎えた**ことと思います。

私は地元の神社に初もうでに出かけ、あることに気付きました。

参拝前に手を洗おうと手水舎(てみずや)へ行くと、水が出ている先にあるのは**龍の口**でした。今年「辰年」ということもあり、龍を意識しながら右手と左手に水をかけました。いつもなら見逃してしまうところですが、本殿にも**木彫りの龍**が組み込まれており、これは意味のあることだと思って、インターネットで調べてみました。龍が水を口から出しているのは龍神が水を司る神様として崇められているため、龍は水以外にも生命力や運気を高める「気」の象徴だとも書かれていました。龍が彫られているのも納得がいきました。力強い心強い一年になりそうです。



龍が組み込まれており、これは意味のあることだと思って、インターネットで調べてみました。龍が水を口から出しているのは龍神が水を司る神様として崇められているため、龍は水以外にも生命力や運気を高める「気」の象徴だとも書かれていました。龍が彫られているのも納得がいきました。力強い心強い一年になりそうです。

本年は、東部中にとっては**創立60周年の年**になります。研究発表の年でもあります。まずは**3学期をどの子も悔いなく過ごせるように**充実した教育活動を進めます。

今年の一人一人の「夢」がすでに黒板に書かれている教室がありました。全体的には「**挑戦したい**」という気持ちがあふれているものが多く目につきました。「**夢が叶いますように**」と思わず念じました。**龍の如く東中生の新たな決意よ、湧き上がれ!**

元日の夕方、大きな地震が能登半島を中心に起こり、まだ、全容がつかめていません。被災された方に心よりお見舞い申し上げます。 **青空よ、青空よ。**